

# 事前学習 道徳学習指導案

## 1 資料について

(1) 資料名 「車いすの少年」 高井哲郎 著

(2) 資料について

資料「車いすの少年」は、困っている人を見かけたら手伝うことも大切だが、手を貸さずに温かく見守り励ますことによって、少年が自らの力で車輪を戻したときの喜びもあることを教えている。生徒たちは一般的に、障がいをもつ人たちのことを自分から遠い存在の人、特殊な存在の人としてとらえ、「かわいそう」と思う程度で、理解していこうとする気持ちが少ない者も多い。また、「手を貸してやる」といった自己満足の気持ちがあれば、かえって相手を傷つける場合もある。

そこで本資料を通して、互いに助け合い、支え合って生きていくために、同じ人間として相手のことを正しく理解しようとする心と、相手の立場や気持ちを考えた上で、自分が何をすべきかという判断力を育て、行動しようとする意欲と態度を培わせていきたい。そのことによって、高齢者との交流において、相手の立場や状況を踏まえて活動できる一助になると考える。

## 2 本時のねらい

「車いすの少年」を通して、相手の気持ちや立場を尊重し、思いやりの心をもって、誰に対しても温かく接していこうとする態度を養う。

## 3 本時の展開

過程	学習活動と内容	主な発問と予想される生徒の反応	指導・支援上の留意点
導入 (10分)	<p><b>1 車いすについての感想を出し合う。</b></p> <p><b>2 今回の課題を知る。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">「本当の思いやり」とは？</div> <p>○ワークシート(学習シート)に課題を記入する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">車いすに乗ったり、介助した際にどのような感想をもったか。</div> <p>○自分の思い通りに動けない。 ○急な動きができない。 ○車いすの介助は気をつかう。</p>	<p>○車いすについて、これまでに自分が何らかの形でかかわったことがあれば、思い出させる。</p> <p>○思いやる対象である相手を私たちの生活している社会全体に広げ、「本当の思いやり」について考えてみることを知らせる。</p> <p>○体に障がいをもつ人がどういう生活をしているのか考えさせ、資料による学習のきっかけとする。</p>
	<p><b>3 資料「車いすの少年」を読む。</b></p> <p><b>4 資料から次の内容についてワークシートに記入する。</b></p> <p>○私とイギリスの人たちとの行為の違いについて考える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">「やめなさい」と怒鳴られたとき、わたしはまわりの人々に対して、どんな感じを抱いたか。</div> <p>○困っている人の手をさしのべただけなのに。 ○わけがわからない。 ○止められなくて悔しい。 ○冷たい言葉に驚く。</p>	<p>○自分の問題として、具体的に考えさせる。</p> <p>○わたしが純粹で素直な気持ちから困っている人に手を貸しており、親切心を行動で表そうとしている点に注目させ、考えさせる。</p>

<p>展 開 （ 35 分 ）</p>	<p>○イギリスの人たちの励ましや少年の気持ちについて考える。</p> <p><b>5 親切や思いやりをもつ意味について考える。</b></p> <p>○ワークシートに記入し、発表する。</p>	<p>車いすの少年に対して、イギリスの人たちは、どのような思いで声援をしていたのか。</p> <p>○障がいをもつ人も自分の力で強く生きていくことが大切である。</p> <p>○困難なことから逃げずに頑張りたい。</p> <p>少年の「サンキュウ」の言葉はどんな思いがあるのだろうか。</p> <p>○まわりの人々の励ましがあったからこそ、頑張ることができたという感謝の気持ち。</p> <p>○自分で努力して、車輪を戻すことができた喜びや満足感。</p> <p>人と接するときに、どのようなことを心がけたらよいか。</p> <p>○他人を思いやり、互いに励まし合う大切さが分かったので心がけたい。</p> <p>○障がいをもつ人への「親切や思いやり」から相手のことを今までよりも考えていきたいと思った。</p>	<p>○人間はとにかく自分中心に物事を考えがちで、障がいをもつ人もまわりに頼りがちになる。しかし、自分の力で強く生きていくことが大切であると考えさせる点に注目させる。</p> <p>○障がいをもつ人に対して「気の毒だ」と勝手に判断したり、「手を貸してあげる」といった自己満足は、相手を傷つける場合もある。自分の力で強く生きていくことが大切という思いやりに対する考えもあることに注目させる。</p> <p>○最後まで見て励ましていた人々は少年の気持ちになっていたことに注目させる。</p> <p>○まわりの人々と、少年のさわやかで自然なふるまいに注目させる。</p> <p>○「親切や思いやり」のもつ意味について考え、まとめさせる。</p> <p>○「相手にとっての親切や思いやり」について確認し、「人を思いやり、親切な行動を行うことに必要な心がまえ」について全体でまとめる。</p>
<p>ま（ 5 分 ）</p>	<p><b>6 学習のまとめをする。</b></p> <p>○ワークシートに授業の感想を記入する。</p>		<p>○今日の授業の感想をワークシートに記入させる。</p>

#### 4 評価

- (1) 相手の気持ちや立場を尊重した本当の思いやりについて考えることができたか。
- (2) 思いやりの心をもって、誰に対しても温かく接していこうとする気持ちが高まったか。

## 〔要望書〕（例）

○○中学校 交流学習へのお願い	
施設名	○○○○○○○
施設長名	○○ ○○ 担当者名 ○○ ○○
電話番号	□□□□ FAX番号 □□□□
受け入れる人数 ●● 名	
生徒がかかわる主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌や踊り・合唱等練習・室内遊び</li> <li>・バス乗車、送迎・入浴や食事介助の補助</li> <li>・館内清掃</li> </ul>
事前に準備すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみを整える</li> <li>・高齢者が喜んでもらうためにはどのようなことを心がければよいのか考える</li> </ul>
生徒や学校への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的意識をしっかりとって参加する</li> <li>・明るく、元気よくあいさつできる</li> <li>・思いやりの心をもたせるための事前学習をする</li> </ul>

## 〔自己紹介カード〕（例）

○○中学校 交流学習 ★自己紹介カード★		
氏名	○○ ○○	顔写真)
自己PR	初対面の人とも、気軽に話すことができ、一緒に楽しむことができます。	
今回の交流に向けての意気込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの大切さをしっかりと学んでいきたい</li> <li>・高齢者と楽しく交流をしたい</li> <li>・元気にあいさつをする</li> </ul>	

〔交流学習振り返りカード（高齢者との交流）〕

〇〇

中学校

交流学習

★振り返りカード★

氏名

〇〇 〇〇

お世話になった施設名

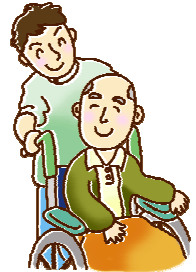
〇〇〇〇〇〇

1. 高齢者との交流学習を実施してよかったと思いますか。当てはまる項目に○印を書いてください。

- ①よかった      ②まあまあよかった      ③あまりよくなかった      ④よくなかった

(1) ③・④と答えた人に質問します。どういう点がよくなかったと思いますか。

(2) 最も楽しかった（やりがいがあった）ことを1つ教えてください。

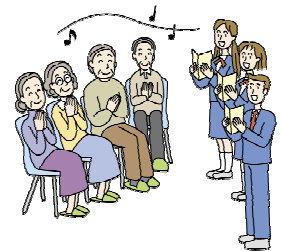


2. 次の目標は達成できたと思えましたか。当てはまる項目の番号を回答欄に書いてください。

- ①達成できた      ②まあまあ達成できた      ③あまり達成できなかった      ④達成できなかった

目 標 項 目	回答欄
(1) 思いやりの気持ちをもって、お年寄りの方に接することができた。	
(2) 自分から積極的に活動することができた。	
(3) お年寄りの方とたくさんの交流ができた。	
(4) お年寄りや施設の方々に喜んでもらうことができた。	
(5) 周りの人に大きな声であいさつすることができた。	
(6) 自分の仕事や役割を最後までやり遂げることができた。	
(7) 仲間と協力して活動することができた。	

3. 他にもやってみたい交流学習を書いてください。



4. 今回の交流学習を通して発見した友だちのいいところを書いてください。

5. 今回の交流学習を通して学んだこと、今後に生かしたいと思ったことを書いてください。

6. 今回の交流学習を通して自分が変わった（こういう考え方になった）と思うところを書いてください。

〔事業所への「交流学習」事後アンケート〕

〇〇 中学校

★「交流学習」事後アンケート★

今回の交流学習では、ご多忙の中、大変お世話になりました。  
今後の改善に役立てたいと思いますので、今回の交流学習につきましてのご意見・ご感想等を以下のアンケートにご回答ください。

施設名 〇〇〇〇

受け入れていただいた生徒数 ●● 名

1 生徒の反応はいかがでしたか。当てはまるものを選び、○で囲んでください。

・よかった    ・まあまあよかった    ・あまりよくなかった    ・よくなかった

★具体的にどのような点がよかった（よくなかった）ですか。

[Empty dashed box for handwritten response]

2 生徒たちの様子（マナーや言葉遣い、態度など）で、お気づきの点がありましたら、お書きください。

[Empty dashed box for handwritten response]

3 交流学習を通して、中学生に学んで欲しいことはどんなことですか。  
当てはまると思われるものすべてを選び、回答欄に○印をお書きください。  
(複数回答可)

学んで欲しいと思う項目	回答欄
(1) 自己の在り方・生き方	
(2) 社会の現状や課題	
(3) 役割を果たせたという達成感や自信	
(4) 人とのかかわり方	
(5) 思いやりの心や感謝する心	
(6) 規範意識	
(7) その他(具体的に回答してください)	

4 何かアドバイスがありましたらお書きください。

[Empty dashed box for handwritten response]

# 中学生になるまで

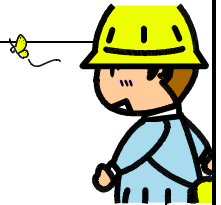
氏名 ○○ ○○

※家族の人に聞きながら記入してみよう！



○出生時の身長	
○出生時の体重	
○名前の由来	
○けが・病気	
○好きだった遊び おもちゃ・絵本 TV番組・運動	

1 誕生から小学校入学前で、特に印象に残っていることや考え方など成長した点をまとめよう。



2 小学校時代に特に印象に残っていることや考え方など成長した点をまとめよう。



3 どんな人たちに支えられて、これまで成長してきたのでしょうか。その方々への思いも書いてみよう。

4 今日の学習を振り返ろう。

(1) 自分の成長を振り返って、意欲的にまとめたり発表したりできましたか。 A B C D

(2) 自分の成長を支えてくれた人たちへの思いを書くことができましたか。 A B C D

《 A:できた B:まあまあできた C:あまりできなかった D:できなかった 》

## 幼児と遊び (遊びの中で育つ)

氏名 ○○ ○○

### ★今日の課題★

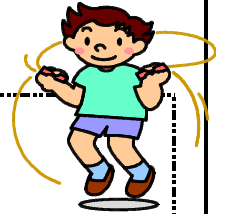
(幼児の遊びの意義を理解する)

1 あなたは新聞紙を使って  
どんな遊びをしましたか？

2 他の人はどんな遊びをしたのか  
メモしよう。

3 遊んでみて、どんなことが身に付くと思いますか？

4 あなたが小さい頃にどんな遊びをしましたか？



5 幼児にとって「遊び」とは、どんな意味があると思いますか？

※自分の考え

※まとめ

6 今日の学習をこれからの生活にどのように生かしたいと思いますか？

〔幼稚園交流学習計画書〕

**幼児との交流の計画を立てよう（例）**

施設名 ○○○幼稚園		担当クラス ○○○○（●歳児）
交流の 目 当 て	班 員 名	交 流 の 目 当 て
	◎ ○○ ○○	遊びの様子を詳しく観察して、4歳児の遊びの特徴を知る。
	△△ △△	幼児特有の考えや発想を知る。
	●● ●●	楽しい雰囲気的交流する。
	□□ □□	子どもを好きになりたい。

★まとめや発表をするための資料の収集内容と方法

- 遊びの様子・・・デジタルカメラ
- 考えや発想を知る・・・聞き取り調査（教師と幼児から）

★予想される遊びの内容  
（外遊びは◎、中遊びは●）

- ◎砂遊び
- ◎鬼ごっこ
- ◎遊具（鉄棒・すべり台・ブランコ）
- ◎なわとび
- 積み木
- 絵描き
- 折り紙
- 腕ずもう

★必要なもの（準備するもの）

- ・シャベル
- ・縄跳び
- ・積み木
- ・クレヨン・色鉛筆・画用紙
- ・折り紙

〈気を遣った方がよいこと〉

- ・優しい言葉づかい
- ・幼児の目線で話をする
- ・力加減
- ・常に笑顔で交流する
- ・周囲に気を配る（幼児を一人ぼっちにさせない）

〈幼児の安全のために、注意すること〉

- ・危険なことはしない（幼児が真似をしないように）
- ・幼児が危険なことをしていたら、すぐに止める
- ・具合が悪かったり、けがをしたりした幼児はすぐに先生のところに連れていく



## 幼児との交流を振り返る

氏名 ○○ ○○

※幼稚園児との交流学習から、今後の学習や交流に生かすために反省をしてみましょう

施設名 ○○○幼稚園

担当クラス ○○○○ (○歳児)

1. 交流活動ではどんなことを体験しましたか。

外遊び

--

中遊び

--

作業や先生の手伝い

--

2. 交流活動を通して感動したことや新しい発見・感想を書きましょう。

--

3. 交流活動で「もっとこうすればよかった」と思うことや、「失敗したかな」と思ったことを書きましょう。

--

4. 来年の2年生にアドバイスを書いてください。

--

〔交流学習振り返りカード（新入生説明会）〕

新入生説明会

★振り返りカード★

氏名 ○○ ○○

1. 新入生説明会を実施してよかったと思いますか。当てはまる項目に○印を書いてください。

- ①よかった      ②まあまあよかった      ③あまりよくなかった      ④よくなかった

(1) ③・④と答えた人に質問します。どういう点がよくなかったと思いますか。

(2) 最も楽しかった（やりがいがあった）ことを1つ教えてください。

2. 次の目標は達成できたと思えましたか。当てはまる項目の番号を回答欄に書いてください。

- ①達成できた      ②まあまあ達成できた      ③あまり達成できなかった      ④達成できなかった

目 標 項 目	回答欄
(1) 6年生の不安や疑問に答えようという気持ちをもって、活動することができた。	
(2) 自分から積極的に活動することができた。	
(3) 内容を分かりやすくするための工夫ができた。	
(4) 自分の考えや思いを伝えることができた。	
(5) はっきりと大きな声で発表することができた。	
(6) 小学校の先生方に大きな声であいさつすることができた。	
(7) 自分の仕事や役割を最後までやり遂げることができた。	
(8) 仲間と協力して活動することができた。	

3. 他にもやってみたい交流学習を書いてください。

4. 今回の交流学習を通して発見した友だちのいいところを書いてください。

5. 今回の交流学習を通して学んだこと、今後に生かしたいと思ったことを書いてください。

6. 今回の交流学習を通して自分が変わった（こういう考え方になった）と思うところを書いてください。



4. 発表を聞いて、あのような中学生になりたいと思った中学生はいましたか。  
当てはまる項目に○印を書いてください。

①たくさんいた    ②数人いた    ③ほとんどいなかった    ④まったくいなかった

5. 中学校生活でもっと知りたいことがありますか。当てはまる項目に○印を書いてください。

① あり    ② ない

(1) ②と答えた人に質問します。どんなことが知りたいですか。

6. 今回の新入生説明会を終えての感想を書いてください。

ご協力ありがとうございました

〔新入生説明会事後アンケート（教師用）〕

新入生説明会を終えて

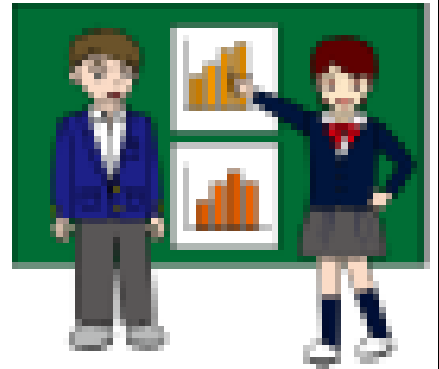
氏名 ○○ ○○

1. 新入生説明会を実施してよかったですか。当てはまる項目に○印を書いてください。

- ①よかった      ②まあまあよかった      ③あまりよくなかった      ④よくなかった

(1) ③・④と答えた人に質問します。どういう点がよくなかったと思いますか。

Blank area for writing answers to question 1.



2. 中学生の説明を聞いてどう思いましたか。  
当てはまる項目の番号を回答欄に書いてください。

- ①わかった                                      ②まあまあわかった  
③あまりわからなかった                      ④わからなかった

説 明 内 容	回 答 欄
(1) 学校行事について	
(2) 学校生活の一日の流れについて	
(3) 設備や施設について	
(4) 学習について	
(5) 生徒会や委員会活動について	
(6) 部活動について	
(7) 服装や自転車通学について	

3. 今回の新入生説明会を終えての感想を書いてください。

Large blank area for writing answers to question 3.

ご協力ありがとうございました

## 事前学習「特別支援学校と障害の特性を知ろう」学習指導案

- ◆本時のねらい：特別支援学校の生徒の活動の様子に関心をもつとともに、障がいをもつ人の体験やユニバーサルデザインの講話を通して、障がいの特性の理解や対応ができるようにする。
- ◆準備：スクリーン、プロジェクタ、マイク、パソコン、DVD（学校祭の様子）、車椅子、アイマスク、目隠しタオル、杖、スロープ、手袋・軍手、折り紙、ワークシート（振り返り用）
- ◆本時の展開

時	生徒の活動と内容	指導・支援上の留意点	評価の観点
10分	<p><b>1 本時の課題を確認する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつをする。</li> </ul> <p>特別支援学校教員，中学校生徒 特別支援学校について知ろう</p> <p><b>2 特別支援学校の学校祭の映像を見ながら説明を聞く。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校にどんな生徒がいるのか。</li> <li>なぜ違う学校で勉強をしているのか。</li> <li>できないことや苦手なことはあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>限られた時間でスムーズに授業が進められるよう、体験をする生徒についてはあらかじめ決めておく。</li> <li>学校祭を一緒にする上で、特別支援学校の生徒の理解をより深めてもらうための話であることを伝える。</li> <li>スクリーンに映し出される映像を見ながら、特別支援学校の生徒の様子が理解できるようにポイントをおさえて説明する。</li> </ul>	特別支援学校の生徒の映像に注目し、話を聞くことができる。
25分	<p><b>3 体験をする。</b></p> <p>〈車椅子の操作をする〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車椅子の正しい使い方を知り、前後左右に注意して、ゆっくり押す。</li> <li>ブレーキのかけ方を知り、安全な場所を選んで止める。</li> <li>急な下り坂では、車椅子を後ろ向きに方向転換して、ゆっくり下りる。</li> <li>スロープを使って、二人組で、障がいをもつ人と介助者になり、疑似体験をする。</li> </ul> <p>〈目の見えない世界を体験する〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代表生徒が目隠しをする。</li> <li>杖を持って一人で歩く体験をする。</li> <li>介助者と一緒にスロープを歩く体験をする。</li> <li>それぞれの感想を話す。</li> </ul> <p>〈軍手をつけた手で作業をする〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>折り紙で作品を作る。</li> <li>折り紙を折った感想を話す。</li> <li>どうしてあげたらよいか考える。</li> </ul> <p>年齢や障がいの有無にかかわらず、多くの人が利用可能にデザインすること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>車椅子の介助をする生徒は、安全を確認して、しっかり押すように説明する。</li> <li>車椅子を止める際には、平らで安定した場所を選んでブレーキをかけるように指導する。</li> <li>車椅子に乗っている人が不安にならないように常に声をかけながら動かすことを伝える。</li> <li>目が見えない世界は予想以上に恐いことが理解できるように話す。</li> <li>杖よりも人の方が安心できることなどを知り、障がいをもつ人に対して、思いやりの気持ちをもって接することの大切さを話す。</li> <li>障がいをもつ人は、思うように手が動かないときの悔しさや歯がゆさを感じることを理解できるようにする。</li> <li>どうしたら悔しい思いを理解できるだろうかと発問する。</li> <li>特別支援学校より持参した学習補助具を見せ、簡単に作業できる道具であることを説明する。</li> </ul>	障がいをもつ人の立場を考えながら体験できる。
10分	<p><b>4 ユニバーサルデザインについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スライドを全員で見る。</li> <li>すべての人が安心して生活ができるように様々な工夫がされていることを知る。</li> <li>障がいをもつ人も、もたない人も感じる気持ちは同じであることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインについて、スライドを基にして説明をする。</li> <li>「楽しい、うれしい、悲しい、悔しい」などと言った感じる気持ちは皆同じであることを伝える。</li> <li>全員に感想を書かせ、数名の生徒に感想を聞く。</li> </ul>	皆が生活しやすくするためにユニバーサルデザインの考えがあると言える。
5分	<p><b>5 授業のまとめをする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思いやりの心の大切さを考える。</li> <li>あいさつをする。</li> <li>自ら進んで、障がいをもつ人と接する態度を養う。</li> <li>相手の立場に立って考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいをもつ人に対して積極的にかかわっていこうと思えるような言葉がけをする。</li> </ul>	障がいをもつ人への接し方についての自分なりの考えがもつことができる。